

2020年の奇跡

サピエンザ ローマ大学

グレアカ・アンカ・パラスキーヴァ

この経験はコロナの影響に強くに与えられました。一年間の留学は六ヶ月だけになってしまったのに、イタリアからの出発と日本への入国は去年より挑戦的になりました。それでも、日本に来るのは人生最良の決断でした。



来日してから、時間が早く過ぎました。毎日を精一杯生きてきました。ホテルでの14日隔離でも、窓からイタリアで見たことない景色が期待と希望に満ちました。コンビニに行くことさえ、新しい食事を試したり、日本の現金で払ったり、店員さんと会話をしたりすることは冒険になりました。14日間たってから、最初

に行った場所は浅草寺でした。夜だったし、コロナで誰もいなかったから浅草寺の魅力を完全に感じられました。最初のおみくじは「凶」だったのに、それ以降対面授業が始まる期待でいっぱいになっていました。

こんな時期でも、私の先生方は責任を取って、対面授業をさせていただきました。10月28日に地下鉄の丸の内線に乗って、お茶の水女子大学のキャンパスを歩いて、まるでアニメに入っている感じがしたです。その時、涙を流しました。なぜならば、ロックダウンや外国人向けの入国拒否や大使館のビザ問題なのに、日本に来られて夢を叶えたからです。

それに、毎週先生方に支えて頂いただけでなく、授業以外も日常生活の問題を解決していただきました。例えば、日本人の友達を作るために、たくさんいいアドバイスをもらいました。毎月お茶

大生との会話セッションのおかげで、伝統的な習慣や年末年始の飾り物についてもっと深く習いました。お茶大生と仲良くして一緒に原宿に出かけたり、お寿司を食べたり、意見交換したりしました。どのような意見かという、空気を読むという概念とやり取りの仕方について教えてくれました。



また、日本人の友達だけでなく、他の留学生と仲良くてきて、一人一人の文化と習慣を学べるようになりました。毎週、授業の発表を楽しみにしていました。理由は、他の国の特徴や文化を初めて聞いた他に、私の国の伝統を教える機会があったからです。この授業で学んだことを大切に、一生忘れられません。

大学の経験以外、冬休みの間に明治神宮や靖国神社と東京大神宮を巡って、一つ一つの神社の御朱印と御守りを買いました。2020年のクリスマスはちょっと寂しかったですが、フライドチキ

ンとクリスマスケーキを買って、他の留学生と祝いました。

去年は辛かったですが、年末年始に初めて新幹線に乗って、温泉旅館に泊まって、人生で最高の経験でした。大晦日に、浴衣を着て、旅館のおせち料理を食べながら日本にもっと夢中になりました。

最後に、ここまでお世話になった人に感謝の気持ちを伝えたいと思っています。まず、先生方のおかげで、このようなコロナ禍でも、対面授業ができて、日本人とつながりました。こんなに優しい方と出会って、人生で初めです。

そして、入国の手続きの難関を突破して下さい、小西さんに深い恩義があります。もし、小西さんがいらっしゃらなかったら、私は決して日本に来られなかったでしょう。

お茶の水女子大学での経験は私の人生を変えてくれました。一生心の奥から感謝します。2020年では、親切が亡くなってしまって、大変恐ろしい年でした。しかし、2021年を日本で始めたから、未来への希望を改めて受け取りました。

